



2025(令和7)年度 12月号

桜丘だより



2025年12月15日 西脇市立桜丘小学校 〒679-0322 西脇市黒田庄町石原 1470

TEL 28-2203 FAX 28-2992 sakurasyo-vp@city.nishiwaki.ed.jp

響け～想いを一つに～

音楽科担当

児童会で決定した今年の音楽会のテーマは、「響け～想いを一つに～」でした。

今年は、以前やっていたエンディングの全校合唱を復活させました。アルトパートを6年生が、伴奏を5年生が担当しました。校長先生も指揮に挑戦されました。「音楽は苦手や～」と言いながら全校練習の場に立たれた校長先生に、「校長先生、大丈夫!」「がんばって～!」と子どもたちからの応援する声が自然と飛んでいました。桜丘小学校の子どもたちらしい姿が見られた一コマでした。歌詞の意味や状況をそれぞれの学年なりに想像し、どんな風に歌おうか考えました。迎えた本番、「志を果たしていつの日にか帰らん」と自分の夢や希望を思い浮かべながら、絶対に叶えてやるぞと言わんばかりの歌声が会場全体に響いたとき、思わず涙があふれそうになりました。そうして、みんなでチャレンジした『ふるさと』でした。保護者や地域の皆様も一緒に歌ってくださりありがとうございました。ぜひ、来年度以降も継続できたらと考えています。

それぞれの学年のステージに向けても、「少しでもいいものを」と、担任と子どもたちとで一緒になって練習に励んできました。子どもたちの発表は想いが一つになった素敵な演奏になっていたと思います。

インフルエンザの急激な広がり、学年閉鎖のため、延期せざるを得ない状況となりました。急な変更のため大幅な予定変更をしてくださったご家庭もあろうかと思えます。ご協力ありがとうございました。



<12月・1月の予定>

(※毎週金曜日は職員定時退勤日です。)

日	月	火	水	木	金	土
12/14	15	16	17	18	19	20
	車いす体験 4年生		プログラミング体験学習 2年生・6年生 教育相談① 読み聞かせ(放課後)	水曜時程 14:20一斉下校 教育相談②	水曜時程 14:20一斉下校 教育相談③	
21	22	23	24	25	26	27
	地区別児童会 14:50一斉下校	大掃除 14:50一斉下校	2学期終業式 10:30一斉下校			
28	29	30	31	1/1	2	3
	←		学校閉庁		→	
4	5	6	7	8	9	10
	学年費等口座振替日			3学期始業式 10:30一斉下校	水曜時程 4校時まで 13:30一斉下校	
11	12	13	14	15	16	17
	成人の日	朝のかけ足 5校時まで 14:50一斉下校	委員会活動 職員研修	SC 来校日 朝のかけ足 伝統文化わくわく体験教室 5・6年生 チェリ一班活動 PTA合同委員会19:00	朝のかけ足 避難訓練 追悼集会	



「ぎゅっと 桜！」

4年生

4年生になってから、はやいものでもう12月。寒い中でも、みんな元気に過ごしています。

目下、みんなで計画したお楽しみ会に向けて準備中。テーマは「ゲームセンター」。クレーンゲームやガチャガチャを、全て手づくりしています。景品はどんなものにしようかと、色々調べ、作っています。それぞれが「お楽しみ会を楽しむ」ために、準備を進めています。どんな仕上がりになるのか、とても楽しみです。

さて、2学期ももうすぐ終わり、1月に入れば「5年生0学期」が始まります。

高学年に入ることを意識して、日々の生活を過ごしていきます。



命と向き合い、命に対する温かい心を育む

性教育担当

様々な情報が飛び交う社会の中で、重要な教育の一つに性に関するものがあげられます。本校では、科学的な知識の理解を促すため、また、自他の命を大切にできる心を育むために、各学年の発達段階に応じて『命の教育（性教育）』を進めています。

6年生は、助産師さんにお越しいただき、命の誕生についての講義をしていただきました。講義では、生まれる過程だけでなく、生まれて今、ここにいることが奇跡だということや、命と向き合う現場のお話もしていただきました。講義後は、妊婦体験や模擬産道を通る体験、赤ちゃん人形の抱っこ体験をしました。また、乳幼児とそのお母さんお父さん、妊婦さんをゲストティーチャーとしてお迎えし、『乳幼児ふれあい体験学習』もしました。乳児や幼児をだっこしたりあやしたり、また、最後には、妊婦さんのおなかの中の赤ちゃんの心音を聞くという貴重な体験をさせていただきました。

「今ここに自分がいることがすごいことだとわかった。」「お母さんや妊婦さんの大変さがわかった。親に感謝したい。」「自分の命をこれから大切にしたい。」「赤ちゃんがかわいかった。」「おなかの赤ちゃんの心音が速くて驚いた。」そんな感想がたくさんありました。子どもたちにとって心に残る時間になったことはもちろん、命の尊さについて考えるきっかけになったのではないかと思います。

この命の教育を通して、自分たちの誕生が周りを笑顔にしたこと、ひとりひとりが大切な存在であることを感じ、自分や周りの人たちを大切にできる温かい人になってほしいと思っています。

